

南区社協・福祉だより

ふれあいネットワーク

〔編集・発行〕



社会福祉法人 広島市南区社会福祉協議会
 広島市南区皆実町一丁目4-46南区地域福祉センター内
 TEL 251-0525・251-0505 FAX 256-0990
 E-mail: minami@shakyohiroshima-city.or.jp

このたび、熊本県を中心とした九州地方で発生した地震により亡くなられた方々へのお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆さま、そのご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。また、皆さまの安全と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

地(学)区社協拠点紹介

南区内の地(学)区社協では、地(学)区社協活動を進めていくため、拠点事務所を設置しているところがあります。この度は、新設された活動拠点を紹介いたします。

●宇品西地区社協●

平成27年9月1日、宇品西地区社協拠点事務所が広島市宇品老人いこいの家 2階 相談室の一角に開設されました。

現在、地区社協事業の打ち合わせ、地域の方からの相談対応、事務処理などのために使用されています。

しかし、今のところ電話がなく、相談などについて十分な対応ができていないのが現状のため、電話を引くことで事務所機能の拡充を目指しています。

平成28年度からは、活動拠点事務所で広報紙の打ち合わせも行い、広報紙を発行し、地区社協のことをもっと皆さんに知ってもらいたいと考えられています。

また、拠点事務所ができたことで地域や地域活動についての資料などを保管することもできるようになるので、役員の交代などがあった場合も引継ぎがしやすくなり、地域の伝統や地域活動を継承していくこともしやすくなったと宇品西地区社協

の中原会長は笑顔で話されていました。

取材にうかがった際にいらっしゃった宇品西地区社協の皆さまも今後、南区社協と連携しながら拠点事務所を活用し、地区社協活動を活発にしていきたいと今後の展望を話されていました。

宇品西地区社協拠点事務所
 住所：広島市南区宇品御幸
 4丁目12番13号
 宇品老人いこいの家内



パソコンの作業もできるように
 されています



宇品老人いこいの家の相談室の一角を
 拠点としています。



目 次 ～ 主な内容 ～

- 「地区社協活動拠点紹介(宇品西地区社協)」…………… P1
- 「平成27年度 地区社協実践研修会を開催しました!」…………… P2・P3
- 「南区社協平成28年度重点事業・予算」…………… P4
- 『ボランティアセンター』ってどんなところ? …… P5
- 「愛の灯」ほか …… P6

平成27年度 地区社協実践研修会を開催しました!

広島市では、日常的な見守り体制の充実を図り、地域の関係機関や団体の連携のもと、高齢者を地域で見守る(支え合う)仕組みを構築するため、平成25年度から高齢者地域支え合いモデル事業を進めています。

南区内では、平成26年度から仁保・楠那地域包括支援センターが指定され、楠那学区を対象に仕組みづくりの検討が進められ、「楠那学区見守り活動」として準備が整ったところで、今回、「地域での見守り」をテーマとして実践研修会を開催しましたので、概要をお知らせします。

これまでの見守り活動の振り返り

説明Ⅰ 「南区における近隣ミニネットワークの取り組み状況について」

説明者 広島市南区社会福祉協議会 主事 東 達也

広島市・区社会福祉協議会では、平成元年から、地区(学区)社会福祉協議会と共に、新・福祉のまちづくり総合推進事業を推進しています。

新・福祉のまちづくり総合推進事業では、①地域内の気がかりな人を見守る「近隣ミニネットワークづくり事業」、②地域で気軽に集える場づくりとしての「ふれあいいきいきサロン設置推進事業」、③ちょっとした困りごとなどを地域の助け合いの中で解決していくための「地区ボランティアバンク設置推進事業」の3つの事業で構成されており、それぞれの事業が連動して地域内で取り組まれていくことを目指しています。

近隣ミニネットワークづくり事業での見守りの対象の多くは高齢者になっていますが、広島市8・20土砂災害の影響もあってか、平成26年度には障がいのある方がいる世帯などにも広がっていると、南区社協 東主事より近隣ミニネットワークの取り組み状況について説明しました。

地域包括ケアシステムが求められる背景など

説明Ⅱ 「南区における地域包括ケアシステム*の推進について」

説明者 南区厚生部 健康長寿課 課長 松田 尚美 氏

少子高齢化が急速に進み、要介護認定を受ける人や認知症の人の割合が増加してきています。また、介護を受けて暮らしたい場所としては、約70%の高齢者が在宅での生活を希望されています。さらに、平成37年(2025年)には「団塊の世代」の全てが75歳以上になり、社会保障費の急増や医療・介護分野の人材不足など様々な問題が起こると予測されています。

このような状況の中「地域包括ケアシステム*」の構築が必要となり、広島市では、平成37年(2025年)を見据えた地域包括ケアシステムの基盤づくりを広島市高齢者施策推進プランの目標としています。目標実現のため、重点施策のひとつを“高齢者を見守り支え合う地域づくり”としていますと、地域包括ケアシステムが求められる背景や広島市での展開につ

いて、南区厚生部 健康長寿課 松田課長より説明がありました。

*地域包括ケアシステムとは

概ね30分以内に必要なサービスが提供される日常生活圏域(具体的には中学校区)を単位として想定しています。重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されることを目指している仕組みです。

(参考:厚生労働省ホームページ)



当日は、多くの方にご参加いただきました

地域の活動報告

実践報告 「楠那学区見守り活動について」

報告者 加藤 健夫 氏(楠那学区社会福祉協議会 会長)

田村 紫野 氏(広島市仁保・楠那地域包括支援センター センター長)

実践報告では、取り組みの経緯やポイントについて以下のとおり報告をいただきました。

(学区社協の立場から)

- ・地域の中では様々な見守り活動が展開されていますが、これまであまり横の連携ができていなかったことから見守りを効率的かつ持続的に展開していくための仕組みづくりに取り組むことにしました。
- ・先行して取り組まれている地区の模倣も考えましたが、楠那学区に合ったやり方ではないと学区の実情に合わなくなると考え、これまでの近隣ミニネットワークづくり事業での見守り活動をベースにして地域での見守り活動のイメージを共有していくことにしました。
- ・関係者の会議を開催する中で、当初は様々な意見が出され、なかなか前に進まない状況もありましたが、会議を重ねていくことで、学区内の5町内会を始めとする協力団体がイメージを共有し、連携して取り組んでいけることになり、4月からスタートしようということになりました。
- ・これから町内会を中心に取り組みを軌道に乗せ、基礎づくりを進めていきたいと思います。
- ・スタートしてからも、また、いろいろな課題が出てくると想定されるので、皆さんには“歩きながら考えよう”というスタンスで進めていくことを確認しました。



楠那学区社協 加藤会長に実践報告をいただきました

(地域包括支援センターの立場から)

- ・地域の関係者と一緒に、見守り活動のイメージづくりと共通理解に時間をかけました。
- ・台帳の管理についても、細かく整理し、個人情報の管理に注意を払いました。
- ・これらのお陰で、会議を重ねるごとに話をスムーズに進めていくことができました。
- ・これからも積極的に楠那学区見守り活動の推進に協力していきたい。



広島市仁保・楠那地域包括支援センター田村センター長にもご登壇いただきました

楠 那 学 区 見 守 り 活 動 の イ メ ー ジ

こんな不安はないですか？

お一人暮らしあるいは高齢者二人暮らし等で、
・80歳以上
・体調に不安がある
などはありませんか？

お申し出ください

見守りをご希望される方は、町内会長や民生委員にお気軽にお申し出ください。
見守り活動の詳しいご説明をいたします。

ご自宅まで伺います

町内会長や民生委員がご自宅に訪問いたします。
見守り活動に必要な情報(緊急連絡先等)を伺います。お預かりした情報は、適切に保管しますのでご安心ください。

必要な支援の調整

困りごとが生じた際などは、町内会長や民生委員、地域包括支援センターへご相談ください。必要な支援の調整を行います。

地域での見守り

元気に過ごしていることも、何か困りごとがあることも、周囲へ伝えていきましょう。
お互いに、日頃からのお付き合いを大切に支え合いましょう。

見守り協力者を調整します

ご近所さん等で、日頃から声掛けや気配りなど、見守り活動にご協力して頂ける方を探します。
町内会長や民生委員が、一緒に調整します。

ま と め

講義 「今後の“新・福祉のまちづくり総合推進事業”に向けて」

講師 広島文化学園短期大学 保育学科 特任教授 堀田 稔 氏



広島文化学園短期大学の堀田教授には介護保険改正の背景などを説明していただきました

広島文化学園短期大学の堀田特任教授には介護保険改正の背景等を説明していただきました。介護保険での画一的なサービスでは対応できない、人間関係の希薄化や社会的孤立などに対応する多様な生活支援サービスが求められる中で、地域の多様な人たちが参画し、それぞれの地域の実情に即した助け合いの体制づくりを進める必要があります。

助け合い活動は、地域で何らかの手助けを必要とする人を地域で支え合うお互い様の活動です。

今回の実践報告のように、地区社協を中心とした住民活動と、地域包括支援センターをはじめとする専門機関が連携・協働して、住民の思いや願いに即した具体的、実践的な福祉のまちづくりを展開することが必要です。

今回の研修会のテーマである「地域での見守り」は地域包括ケアシステムの基盤となる取り組みであり、実践報告をいただいた高齢者地域支え合いモデル事業と市・区社会福祉協議会が取り組んでいる近隣ミニネットワークづくり事業は、それぞれ別々の取り組みを行うのではなく、あらためて地域内の見守りを包括支援センターのバックアップを受けながら再構築していくことを目指すものと、今回の研修会のまとめの言葉をいただきました。

平成28年度

広島市南区社会福祉協議会事業計画重点事業

1 たすけあいのまちをつくります

(1) 小地域福祉活動の推進

- ① 新・福祉のまちづくり総合推進事業の推進
- ② 福祉のまちづくりプランの策定支援
- ③ 地区社協活動の拠点づくりの支援

(2) 福祉教育の推進

- ① 地域で進める子どもから大人までの学び

(3) たすけあう活動の推進と発信

- ① ボランティア活動の推進
- ② 災害ボランティアセンターの体制づくり
- ③ 地域福祉活動や福祉情報の発信

2 一人ひとりの暮らしをささえます

(1) 相談援助機能の強化

- ① 相談機能の強化とニーズ把握
- ② さまざまな生活課題のある人への支援

(2) 権利擁護の推進

- ① 福祉サービス利用援助事業「かけはし」の推進協力
- ② 成年後見事業「こうけん」の推進協力

(3) 支えあいの輪づくりの支援

- ① 当事者活動の支援
- ② 関係機関・団体とのネットワークづくりの推進

(4) 新たな仕組みづくりの推進

- ① 新たな社会的課題への対応
- ② 「広島市くらしサポートセンター」への協力

3 活動をすすめる体制を強化します

(1) 組織・財政の強化

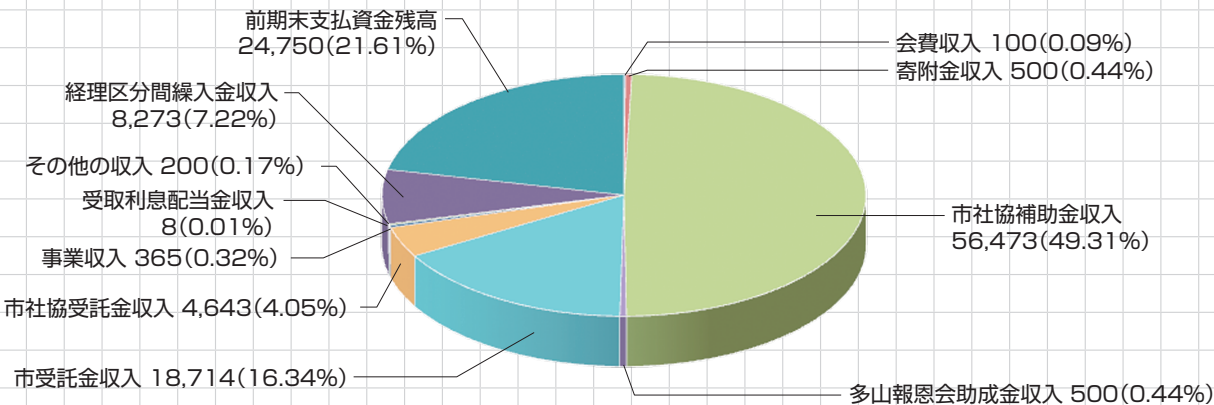
- ① 財源の確保
- ② 組織の効率的運営についての検討協力

(2) 職員体制の整備・強化

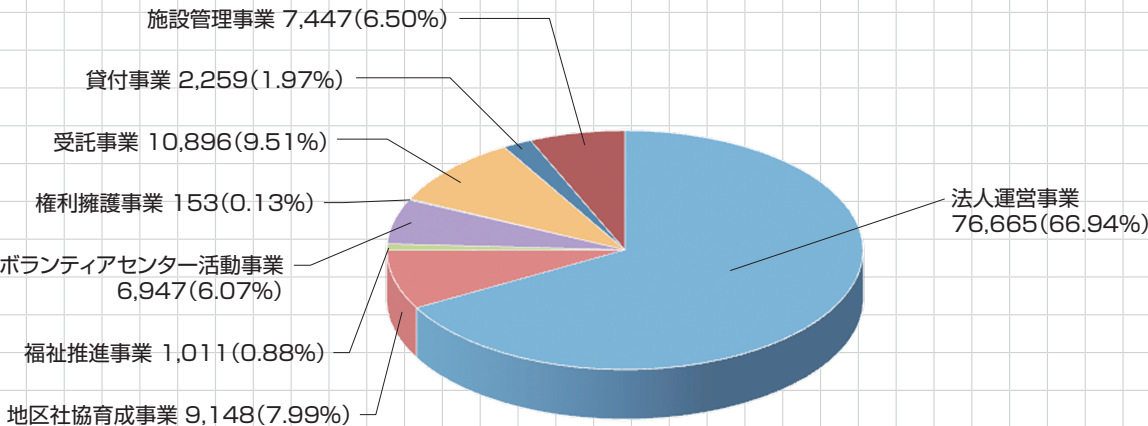
- ① 人材の確保
- ② 職員資質の向上

平成28年度 予算

(単位：千円)



収入の部：合計 114,526



支出の部：合計 114,526

『ボランティアセンター』ってどんなところ？ ～南区ボランティアセンターのご紹介～



ボランティアセンターは、ボランティア活動をしたい人と、ボランティアによる支援をもらいたい人をつなぐ場所です。

南区には14のボランティアグループがあり、個人を含むと、350人以上の方が登録されています。手話・点字・音訳・外出支援・作業所の支援等、障害のある方を対象としたものや、高齢の方を対象としたもの、趣味や特技を活かしたもの、行事支援など、様々です。

あなたに合った活動を探お手伝いをします。ボランティア活動をしたい!ボランティアさんに支援してほしい!と思ったら…まずはご相談ください。

〈活動希望の例〉

- 人の役に立つことをやりたい
- 聴覚障害の方と手話で話してみたい
- 外出に困っている人のサポートをしたい
- 特技を活かして何かしたい



〈援助希望の例〉

- 施設でのお祭りを手伝ってみたい
- この本を読みたいので、点字で訳してほしい
- 話し相手になってほしい

＜相談・援助＞

- ボランティア活動に関する相談の受付

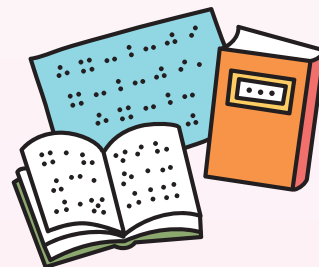
ボランティア活動を希望する人には、どんな活動をしたいのかを相談しながら、ボランティアグループの紹介、ボランティア講座等の案内、ボランティア募集などの情報提供を行っています。

- ボランティア援助希望の受付

ボランティアによる支援を希望する人には、訪問してお話を伺ったり、関係機関と連携を取ったりしながら、支援を調整しています。

＜ボランティア活動に関する情報提供＞

広報紙の発行、開催講座・研修会のご紹介、ボランティア募集などを広報紙や区社協ホームページで発信しています。



＜登録ボランティアのフォローアップ＞

ボランティア連絡会を組織し、年に2回の研修会、1回の交流会、ボランティア活動ステップアップ講座の開催を支援しています。

＜ボランティア講座の開催＞

H27年度…子育て支援の講座、学生向け講座(ボランティアチャレンジナビ)、話し相手ボランティア入門講座、視覚障害者のためのガイドボランティア入門講座、精神保健福祉ボランティア育成講座を開催しました。

＜ボランティア保険の加入手続き＞

『ボランティア活動保険』では、ボランティア活動中のボランティア自身の怪我の補償、または賠償責任を補償します。地震・津波・噴火などの天災に伴うボランティア活動の補償も行っています。

子育てオープンスペース等、行事参加者のための『ボランティア行事用保険(怪我・賠償)』も取り扱っています。

何かを始めよう、活動についてもっと知りたい!と思ったださった方…

ぜひ、一度南区ボランティアセンターにお越しください!
電話によるお問い合わせもお待ちしています!



南区社会福祉協議会 南区ボランティアセンター 月～金 8:30～17:15
TEL 251-0525 FAX 256-0990

愛の灯

いつもご寄付のほどありがとうございます。
皆さまからお預かりしたご寄付は、南区の地域福祉の推進のために有効に活用させていただきます。

**寄付物品 平成27年4月1日～
平成28年3月31日まで**

●寄付金

新井内科 様(京橋町)
NTTデータ中国 様(比治山本町)
匿名希望の皆様

●香典返し

柳田 京子 様(宇品神田)

●物品寄付

広島青崎郵便局 様(青崎)
川中 真志 様(比治山本町)
(株)平和運送 様(出島)
(株)みらくる 様(的場町)
広島城南ロータリークラブ 様(中区基町)
北野 太則 様(宇品東)
川島 好晴 様(仁保)
県立広島病院地域医療連携室 様(宇品神田)
元宇品町内会 様(元宇品町)
朗読サークル 野の花 様(皆実町)
柳田悠喜・理登 様(南区)
岡田憲明・平川加恵子 様(東本浦町)
宮崎 弘光 様(宇品海岸)
中垣 恵美 様(京橋町)
松延 寿恵子 様(丹那町)
広島シーサイド病院 様(元宇品町)
田村 直美 様(東雲本町)
ホープ薬局 様(宇品神田)
野菊の会 様(皆実町)
高橋チエコ・タカノ美容室 様(皆実町)
西原 葵・和 様(宇品海岸)
甲藤 義弘 様(山城町)
甲藤 幸子 様(丹那町)
皆実町6丁目目まわりサロン 様(皆実町)
船本 賢明 様(山城町)
一般財団法人 広島YMCA 様(東区若草町)
松重 恵子 様(段原南)
イオンみゆき店 様(宇品御幸)
広島市楠那公民館 様(楠那町)
蔭本 正美 様(大州)
フジ工業(株) 様(仁保)
匿名希望の皆様

賛助会員を募集しています!!

南区社会福祉協議会では、誰もがいきいきと安心して暮らせる「福祉のまちづくり」に取り組んでいます。いただいたお金は、地域で取り組まれている「ふれあいいきいきサロン」事業の財源にいたしますので、地域への還元になります。南区の福祉をますます充実させていくためにも、みなさまのご協力をお願い申し上げます。

■賛助会員(個人・団体)

- ・1口 1,000円 ・何口でもご加入いただけます。
- ・ご加入については左記までお問い合わせ下さい。

■お問い合わせ

社会福祉法人 広島市南区社会福祉協議会
〒734-8523 広島市南区皆実町 1-4-46
TEL 082-251-0525 FAX 082-256-0990

賛助会員にお申込みいただきありがとうございます。

平成27年度は、71口の申込がありました。(3月31日現在)

●申込者

南区母子寡婦福祉会 様	荒神町地区母子寡婦福祉会 様
大州地区母子寡婦福祉会 様	青崎地区母子寡婦福祉会 様
段原地区母子寡婦福祉会 様	比治山地区母子寡婦福祉会 様
翠町地区母子寡婦福祉会 様	皆実地区母子寡婦福祉会 様
仁保地区母子寡婦福祉会 様	大河地区母子寡婦福祉会 様
宇品東地区母子寡婦福祉会 様	宇品西地区母子寡婦福祉会 様
元宇品地区母子寡婦福祉会 様(元宇品町)	
南区身体障害者福祉協会 様(似島町)	松本 正則 様(似島町)
柳奥 昭栄 様(宇品海岸)	ヨーガ同好会 様(宇品西)
健康体操同好会あじさい 様(宇品海岸)	
南区社協理事・評議員有志の皆様	匿名希望の皆様

ご寄付をお願いいたします。

- 物品は、古切手・アルミ缶・車いすなど。(バスカードの受付は終了しました。)
- 金銭は、祝い返し・香典返し・各種募金・チャリティーバザーやコンサートの収益金など。
- また、社会福祉法人に寄付された場合、寄付金控除の対象となります。寄付を希望される場合は直接南区役所別館(3階)にお持ち下さい。地域の皆さまからいただきました寄付は南区の地域福祉の推進のために有効に活用させていただきます。

「主な自主財源の事業」

- 地域福祉活動推進事業
 - ・地区(学区)社協活動の援助(いきいきサロン活動費等)
- ボランティア活動推進事業
 - ・ボランティアセンターの運営
- 心配事相談事業
- 福祉事業
 - ・老人福祉事業
 - ・児童福祉事業
 - ・障がい児(者)福祉事業
- 広報事業

お申し込み・お問合せ

社会福祉法人 広島市南区社会福祉協議会 電話 251-0525

共同募金にご協力 ありがとうございました

平成27年度実績額(平成28年3月31日現在)

合 計	8,068,099円
戸別募金	6,308,612円
街頭募金	121,775円
法人募金	1,144,290円
職域募金	397,562円
その他	95,860円
達成率	64.3%

※おかげさまで昨年度の実績を上回ってご協力をいただきました。

赤い羽根共同募金は、県単位で集約されて、配分委員会によって地域の福祉活動に配分されます。南区内の社協関係では、南区社協で毎年実施している「ボランティアフェスティバル」や在宅介護者の集いの開催に活用させていただいています。また、各地区社協で取り組まれている「ふれあいいきいきサロン」や「地区ボランティアバンク」など誰もが安心・安全に暮らすためのまちづくりのための取り組みを進めていくための財源となっています。

この場を借りて、募金をくださった地域の皆様、活動にご尽力いただいた関係者の皆様に御礼申し上げると共に、今後とも、「じぶんの町を良くするしくみ」のひとつとして、共同募金へのご協力をよろしくお願いいたします。



荒神町小学校の児童の皆さんも街頭募金に協力してくれました